

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 1 月 30 日

上 場 会 社 名 大同工業株式会社

（コード番号：6373 東証・大証第一部）

（URL <http://www.did-daido.co.jp/>）

代 表 者 代表取締役社長 新家 康三

問合せ先責任者 取締役総務部長 金野 誠一

T E L (0761) 72 - 1234

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 売上高 (記載金額は百万円未満切捨)

期 \ 項目	売上高	増減率
	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	24,917	4.5
15 年 3 月期第 3 四半期	26,098	-
(参考)15 年 3 月期	35,674	-

平成 15 年 3 月期第 3 四半期の売上高についての開示は行っておりませんが、当第 3 四半期と同様の方法により算出したものです。

当第 3 四半期におけるわが国経済は、円高、デフレ傾向の持続など引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、動力伝動・搬送関連事業において、二輪車用チェーンが円高の影響もあり、海外補修用が減少し、前年同期を下回りました。

その他の事業においては、農業機械用ホイールは前年同期を上回りましたが、二輪車メーカーの輸出機種が生産減少の影響を受け、バギー用ホイール、スポークが大幅に減少したことにより前年同期を下回りました。

これらの結果、当第 3 四半期の連結売上高は、24,917 百万円（前年同期比 4.5%減）となりました。

当社グループの売上高は期末に集中する傾向が強いことから、例年第 1 四半期及び第 3 四半期の売上高が通期の売上高に占める割合は低くなっております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

業績は概ね当初予想どおり推移しており、業績予想の変更はありません。

予想値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上